

青嵐

題字：阿南 惟正 理事長筆



〈地域共生教育センター・オープニングセレモニー〉



公立大学法人

北九州市立大学 学報

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU INFORMATION SEIRAN

発行日／2010年7月31日 発行元／北九州市立大学広報入試課



Vol.21

特集1 地域共生教育センター開設

特集2 大学院で学ぶ

特集3 留学生通信・交換留学生からの報告

トピックス

昭和レトロ館

フォーラム小倉南活動

お知らせ

入学式

平成21年度卒業生就職状況

図書館の日祝開館

同窓会からのお知らせ

サークル活動報告

部活動紹介

教員人事

会議開催

入試情報

Navy Wavy

ひびきのキャンパス成績優秀者

平成22年度計画

吉田茂賞受賞

北九州市立大学改革物語

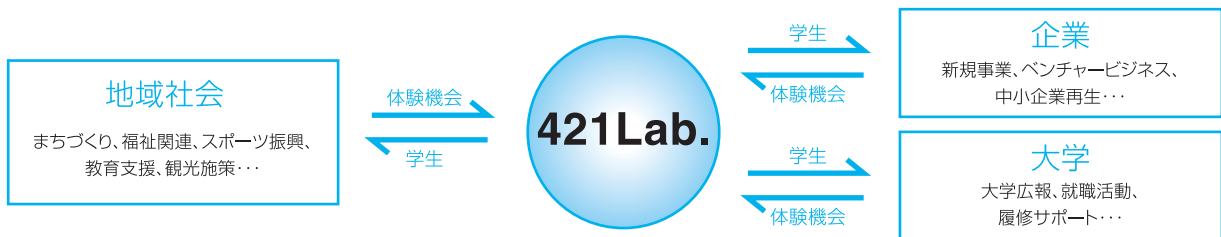


「地域につながる、自分 地域共生 通称「421」

1.はじめまして。地域共生教育センター（421Lab.）です。



4月21日に、北九大に誕生した地域共生教育センター（421Lab.）。ここは地域の課題と大学教育をつなぐ新しい場所です。地域、学生、大学がお互いの得意分野を活かし、ともに成長していく社会づくりを目指していきます。取り組みの中心は、「地域や学生が主役となる活動」です。みなさんの活動の細やかなサポートを通して、地域貢献と人材育成の一翼を担っていきます。このような活動に取り組むことで、学生の皆さんには『仲間』ができ、自分をひろげることができます。今までになかった、みんなの場所。すでに、地域と大学の新しい関係は始まっています。

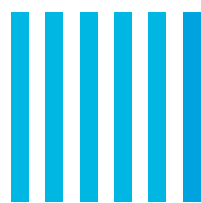


421Lab.では、「地域活動の情報収集・提供活動」「教育プログラムの開発と実施」「地域活動に関する講座・学習機会の提供」など、地域、学生、大学がつながり、地域社会全体が活性化するためのさまざまな活動を行います。

また、421Lab.は、みなさんの活動をサポートするスタッフや設備などを準備して皆さんの参加を待っています。まずは、気軽にのぞいてみてください。



をひろげる」 教育センター Lab. (ヨン・ニー・イチ・ラボ)」



421 Lab.
地域共生教育センター
Regional Symbiosis Education Center

2. 歩き始めた421Lab.

6月末日時点で、地域活動へ参加しようという意欲から421Lab.に名前を登録している学生は323名です。その内、すでに166名の学生が様々な地域活動に参加しています。またその活動も多方面にわたります。

421Lab.で扱う地域活動の情報は3つに分類されます。一つ目は教育プログラムとして展開させるプロジェクト型。二つ目は学生・教員への情報提供と相談マッチングを行うマッチング型。そして学生・教員への情報提供のみを行うインフォメーション型です。まちづくり活動やスクールボランティア、障害者支援に関する活動など、いずれも熱心な取り組みが行われています。

すでに展開されている主な活動の紹介

プロジェクト型	CROSS FM番組制作、北九州ドリームサミット、スクールボランティア、etc...
マッチング型	オープンキャンパス2010学生スタッフ、キャリアーナ、ギラヴァンツ北九州応援プロジェクト、漫画ミュージアム、ひまわり実行委員会、YAHATA HAHAHA PROJECT、etc...
インフォメーション型	●421Lab.の掲示板にて随時掲示中です。 (例) 小倉医療センターボランティア募集、「チャイルドライン北九州」ボランティア養成研修参加者募集、北九州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター、ロシナンテスサッカーボランティア募集、etc...

※上記の活動はインフォメーション型の一部を除いて募集を終了しています。

【センターの体制】

センター長 伊野 憲治(地域創生学群長)
スタッフ 坂本 毅啓(専任教員 准教授、社会福祉士)
奥村 貴仁(特任講師 社会体験コーディネーター)
石谷 百合加(特任講師 プランニングコーチ)
山辺 智子
学生スタッフ 親川 はな 菊田 洸祐 木村 朋代 工藤 朗
黒木 由紀 合田 充雄 近藤 美樹 坂本 裕基
図師 万理子 新田 菜里 野津 慧一郎 橋本 遙
宮田 寛也 山口 真悟 山崎 香奈 山田 弥加
湯地 紗文

3. 学生さんも、地域の方も、お気軽にどうぞ。

421Lab.は誰でも気軽にご利用いただける空間を目指しています。何かをしたいけど、何をしたらいいのかわからない。あるいは若い学生さんのアイデアや力がほしい。そんな方々に対して、お互いのニーズをコーディネートし、地域のさらなる活性化に寄与します。また、キャンパスの外で、多様な年齢の多様な人と学生がコミュニケーションをとることで、現代社会を生きていくスキルを少しでも多く学び取ってもらいたい、そのような期待もしています。



地域につながる、
自分をひろげる



421Lab.へのお問い合わせ
地域共生教育センター

OPEN/10:00~18:00(月~金)
〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1(北方キャンパス2号館1階)
[TEL] 093-964-4092 [FAX] 093-964-4088
[Mail] info421@kitakyu-u.ac.jp <http://www.kitakyu-u.ac.jp/421/>



大学院で学ぶ

専攻紹介

社会システム研究科 (博士前期課程)

現代経済専攻	地域コミュニティ専攻	文化・言語専攻	東アジア専攻
<p>地域経済、産業政策を実践的に研究する人材育成を目的とします。</p> <p>国内外の産業社会の動向を的確に把握し、地域経済・産業政策を実践的・理論的に提示できる深い洞察力と広い視野を持つ人材及び公共的業務や企業等において活躍できる高度な専門職業人を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定員:8名 ●学位:修士(経済学) 	<p>人間行動の研究を通して地域コミュニティの再生をめざす人材育成を目的とします。</p> <p>地域コミュニティの再生を目指し、人間関係に係る学際的学問的領域を統合し、高度な専門職業人の養成及び社会人を対象とする専門的ナリカレント教育を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定員:8名 ●学位:修士(人間関係学) 	<p>英語圏・中国語圏で活躍できる人材育成を目的とします。</p> <p>文化と言語に係る専門知識と能力を涵養し、深い洞察力と広い視野を持つ人材及び専門職業人を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定員:10名 ●学位:修士(比較文化) ●学位:修士(英米言語文化) ●学位:修士(中国言語文化) 	<p>「東アジアの時代」を担う国際人の育成を目的とします。</p> <p>グローバル化の進行する社会において、東アジアをはじめとする国際社会において活躍できる深い洞察力と広い視野を持つ人材及び高度な専門職業人を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定員:8名 ●学位:修士(国際学)

法学研究科

社会における実践的法律知識習得者の育成を目的とします。

幅広い視野に立つ精緻な法学的知識を身につけ、地域社会の多様な法的問題に応える専門的職業人を養成します。

- 定員:10名
- 学位:修士(法学)

マネジメント研究科

事業創造と組織変革を担える革新的リーダーの育成を目的とします。

経営感覚に優れ、地域の中核的役割を担える高度なマネジメント能力を備えたリーダーを養成します。

- 定員:30名
- 学位:経営学修士(専門職)MBA

国際環境工学研究科

持続可能な経済発展を目指して、エネルギー・環境問題について正しい認識を持って社会に貢献できる高度な技術者・研究者の育成を目指します。

<p>環境システム専攻</p> <p>資源、エネルギー、環境問題を俯瞰的にとらえ、相互に関連している問題をシステムとして取り扱って解決策を探るとともに、これらの問題をバイオ・化学両面の先端技術を駆使して解決していくことのできる人材を育成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●博士前期(修士)課程 定員/50名 ●博士後期課程 定員/12名 ●コース/環境化学プロセス、環境バイオシステム、環境資源システム
<p>環境工学専攻</p> <p>「機械システム」「建築デザイン」に関わる専門分野を探索することに加え、両分野での研究・教育の蓄積の積極的融合を図り、従来の専門分野の枠組みを超えた教育を行います。持続可能な社会の実現に向けて、柔軟性を持って具体的解法を提示できる人材を育成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●博士前期(修士)課程 定員/40名 ●博士後期課程 定員/10名 ●コース/機械システム、建築デザイン
<p>情報工学専攻</p> <p>いつでもどこでもだれでもマルチメディア情報を扱える地球にやさしい情報通信環境の実現を目指し、教育・研究を行います。「通信・メディア処理」と「コンピュータシステム」の専門教育を基本に、先端技術を駆使して情報通信環境を構築することのできる人材を育成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●博士前期(修士)課程 定員/40名 ●博士後期課程 定員/10名 ●コース/通信・メディア処理、コンピュータシステム



留学生通信

交換留学生からの報告

北九州市立大学から海外の協定校に留学している学生の皆さんはどのような生活を送っているのでしょうか。体験してみないとわからない生の情報を現地から送っていただきました。



(写真・右から2人目が城戸さん)



交換留学生報告

法学部政策科学科3年 城戸 暢

こんにちは、私は法学部政策科学科三年の城戸 暢です。

私は今、タコマ派遣留学第4期生として、今年の3月よりアメリカに留学しています。タコマとは、ワシントン州の中にある都市の名前です。タコマ・コミュニティ・カレッジという学校に通っています。

今回、法学部から初めてこの派遣留学生としてこのプログラムに参加させてもらい、アメリカに滞在してすでに3カ月が過ぎました。言うまでもなく、アメリカの環境は日本とまったく違い、すべてが新しいことの連続です。私が一番驚いたのは、やはり食のの違いです。豪快で、とてつもなく大きいアメリカンな食事に驚かされました。

私のホストファミリーは、とても優しく、いつも楽しく会話してくれます。兄弟が3人もいるので、いつも楽しいです。

また私はアメリカに来て、スケートボードを始めました。日本ではあまりなじみがないかもしれませんが、アメリカではとても人気のあるスポーツです。スケートボードをすることによる利点は、現地の人達といろいろな会話ができることです。

正直、学校で習う英語と彼らが話す英語はまったく違います。彼らが話す英語はとても速く、おまけにslangも話すので、ときどき意味が分かりません。しかし、とても勉強になります。絶対に教科書には載っていません。私がこの留学を決意した理由の一つにこのような生の英語を学びたいということがありました。

今、少しでも留学に行きたいと思っている人があれば、この留学プログラムは、とても最適だと思います。行動した人が勝ちです。留学も自分をよりいっそう大きくするひとつの挑戦だと思います。

アメリカ 最高～♪



「International Student Services & Programs」。
留学生はここで色々な手続などを行います。



タコマのランドマークとして親しまれている「レーニア山」。現地日系人の間では「タコマ富士」とも呼ばれている。

タコマ・コミュニティ・カレッジ



1965年創立。ワシントン州立のコミュニティ・カレッジ。2年制学術系課程、語学研修、短期講座を提供している。シアトルの南に位置する工業都市タコマにある。大学進学、職業・技能教育、ESL、生涯教育をカバーし、留学生は21カ国から集まる。学生数は約8,500名、留学生は約200名を受け入れている。

TOPICS

トピックス

門司港栄町銀天街『昭和レトロ館』を運営しています。

地域創生学群の地域マネジメントコースの学生数名が門司港栄町銀天街の『昭和レトロ館』の運営を行っています。これは、地域創生学群の実習として位置付けられ、土・日・祝の10:00~17:00で活動しています。まずは、館内のご案内と駄菓子等の販売活動を通じて、接客の基本を学ばせていただいています。将来的には、門司港レトロ地区へお越しになる観光客の回遊を意識しながら、門司港全体の活性化に寄与できるような施策を展開していく予定です。そのためにも、『昭和レトロ館』を拠点として、自分たちが地域の方々に認められるような存在になるために活動していきたいと考えています。門司港にお越しの際は是非お立ち寄りください。



『門司みなと祭り』(5月22日)での様子

ギラヴァンツ北九州学生応援プロジェクトチーム『Navy Wavy』の紹介

ギラヴァンツ北九州学生応援プロジェクトチーム「Navy Wavy」は、現在3年生4名、2年生7名、1年生6名、計17名で活動しております。私たちの活動理念は、「学生の力でギラヴァンツ北九州を、そしてJリーグを盛り上げよう」です。これまでの活動実績としては、2008年度と2009年度に市内の小学校に毎月「ニューウェーブ(前チーム名)だより」を発行。そして2009年10月18日には、「スポーツを通じた北九州地域の活性化」シンポジウムに、研究チームとして参加しました。現在のメイン活動としては、地元ケーブルテレビ「COM北九州さん」とともに、ギラヴァンツ北九州応援番組『ギラ☆Channel』の企画・運営・出演をしています。そして現在、また新たな取り組みとして、学生応援プロジェクトを計画中です。私たちNavy Wavyは、ギラヴァンツ北九州を、そしてJリーグをもっともっと学生の皆さんに身近に感じてもらうように、日々全力疾走で駆けていきたいと思っています!!



『日本のお母さん』ありがとう

本学の留学生を19年間にわたって支援して下さった国際交流ボランティア「フォーラムこくら南(会員41名、代表:村井香代氏)」が会員の高齢化等の理由により、平成22年4月25日に解散されました。

「フォーラムこくら南」は1991年、日本近代史の勉強会をきっかけに発足しました。

本学留学生との交流は1992年に始まり、以降毎年行われた留学生の歓送迎会やバス旅行などの交流事業をはじめ、悩み相談会やホームビジットの受入など、家族ぐるみのお付き合いで留学生の心のケアをして頂きました。

お世話をしてくださった留学生数は500人以上に上り、皆多くの思い出と感謝の意を胸に本学を巣立っていきました。

その支援活動は「日本一留学生に親切的な大学」を掲げる本学の国際交流推進に大きく寄与しました。

本学では「フォーラムこくら南」の皆さまの温かいご支援と意志を引き継ぎ、教職員一丸となって、これまで以上に留学生のフォローを行ってまいります。



バス旅行 in 熊本



留学生の卒業を祝う会

平成22年度4月入学式

4月5日(月)に北方キャンパスの体育館兼講堂において、2010年度入学式が挙行され、新たに1,635名の学生が入学してきました。入学式では阿南惟正理事長から、「夢を持って。その中から新しい自分を発見せよ」、「良き友人を作れ」、「心の豊かさを大事に育てよう」という3つの言葉に加え「健全な精神は、健全な身体に宿る」という言葉が贈られました。また、矢田俊文学長からは、「自らを理系人間、文系人間と限定せず、知的興味をどんどん広げ、広大な知的世界を身につけて下さい」と式辞がありました。

若草の萌え立つ春の明るい日差しが照らす中での入学式でした。



ひびきのキャンパス 平成22年度成績優秀者表彰(GPA賞)について

国際環境工学部では、平成16年度から、3年終了時までの累積GPA上位者を表彰する制度を設けています。

平成22年度は下記のとおり、学科ごとの上位者計20名が表彰対象となり、6月16日(水)に表彰式が行われ、矢田学長から賞状と副賞が授与されました。

なお、来年度からは、北方キャンパスと同じ成績優秀者制度に移行します。

表彰者名簿

●環境化学プロセス工学科

- ・最優秀賞 小川 あかね
- ・優秀賞 鷺巣 孝
- ・努力賞 田口 成美・豊永 亜由美

●環境機械システム工学科

- ・最優秀賞 森永 祐輔
- ・優秀賞 渡邊 広大
- ・努力賞 峯浦 和志・中野 真一

●情報メディア工学科

- ・最優秀賞 石川 弘貴・三原 伸之
- ・優秀賞 恵崎 香・細木 雅世
- ・努力賞 亀山 健太郎・堀 まどか・山下 秀平・日野 貴之

●環境空間デザイン学科

- ・最優秀賞 米田 萌
- ・優秀賞 安永 龍一
- ・努力賞 末崎 崇史・辻野 智美

受賞者のコメント

この度はこのような賞をいただきありがとうございます。今まで努力してきた成果をこのような形で表彰していただけることに感謝しています。

ご指導してくださった先生方ありがとうございました。受賞者を代表してお礼を申し上げます。私たちはこの北九州市立大学ひびきのキャンパスに入学し、先生方の授業で様々な知識を身に付けました。技術者としての知識だけでなく、今後自分達が進んでいく上で必要な心構えや考え方など全てが貴重な財産となっています。

私は、この大学生活3年間で、勉強の知識以外にも様々なものを得ました。それは多くの仲間です。この大学生活で得たかけがえのない仲間との信頼関係をいつまでも大切にしていきたいと思えます。そして残り少ない大学生活を後悔のないように頑張っていきたいと思えます。

卒業後は各々が進学、就職と別々の道に進みますが、この大学で得たことを活かし社会に貢献できる人間になれるよう精進していきたいと思えます。



国際環境工学部
情報メディア工学科4年
石川 弘貴

平成21年度卒業生の就職状況について

平成21年度卒業生の就職決定率(就職者/就職希望者)は91.8%となりました。各学部別の就職状況は下表のとおりです。

一昨秋以降の急激な景気後退の影響を受け、企業等が大幅に求人を絞っており、本学卒業生の就職状況も、厳しい雇用情勢を反映した結果となりました。

平成22年度についても、厳しい就職状況になると思われますが、キャリアセンターでは、一人でも多くの学生が希望する進路に進めるように、インターンシップや就職活動ガイダンス、個別進路相談等、これまで以上にきめ細かな就職支援を行ってまいります。

平成21年度卒業生学部別就職状況

	外国語学部	経済学部	文学部	法学部	国際環境工学部	計
就職決定率*	91.2%	93.2%	88.7%	92.7%	92.4%	91.8%

※就職決定率=就職者/就職希望者

中期計画の進捗と平成22年度計画

中期計画の進捗

北九州市立大学は、平成17年度の法人化にあたり、6年間にわたる中期計画を定め、これに基づいて教育、研究の充実や大学の知を活かした社会への積極的な貢献活動を行っています。

中期計画は169項目からなっており、5年間を経過した平成22年4月現在、中期計画全体の約99%が実施済み又は概ね終了に近い段階にあります。

平成22年度計画

第1期中期計画期間の最終年度である平成22年度は、中期目標の達成に向けて残された課題に着実に取り組んでいきます。平成22年度計画で定めた主要な取組は次のとおりです。

海外大学への派遣留学

平成20年度から実施しているタコマ・コミュニケーション学への派遣留学を引き続き実施するとともに、平成22年度から北京語言大学への派遣留学を実施します。

技術開発センター群

組織横断的な研究実施体制のもとで、環境技術・情報技術・ナノテクなど有望な産業技術シーズの開発を目指す「技術開発センター群」事業を引き続き実施します。平成22年度は、新設の「バイオメディカル材料開発センター」及び「バイオマス研究センター」を含む5つのセンターが活動します。

良好なキャンパス環境の整備

北方キャンパスの1号館と2号館の間に学生の交流スペースを新設します。この施設は、学生同士の交流の場として活用します。

教育の質の改善・向上

FD委員会を中心に新任教員研修、FDセミナー等を実施し、全学的に教育手法の改善に取り組むとともに、全学科単位でのピアレビューを実施します。

また、FD活動への学生参加として、FD委員会と学生との意見交換の場を設けます。

地域共生教育センターの設置

地域社会における実践的活動を通じて次世代を担う人材を育成することを目的として、平成22年4月に「地域共生教育センター」を設置しました。同センターは、学内の各種ボランティア活動のコーディネートを行うとともに、地域からのボランティアの要請の窓口となります。

上記を含め、教育分野24項目、研究分野20項目、社会貢献分野22項目、組織運営分野20項目、計86項目からなる平成22年度計画を策定し、取り組むことにしました。

詳細は、大学ホームページに掲載しています。

<http://www.kitakyu-u.ac.jp/outline/kouhyou.html>

図書館の日祝開館

図書館では、利用者の日祝開館に対する強い要望にお応えするため、二段階に分けて日曜・祝日の試験的開館を実施しております。第一段階は教職員・学生を対象に、平成21年9月28日から平成22年3月31日の半年間実施しました。第二段階は市民まで含めて平成22年4月11日から平成23年2月28日までの1年間実施いたします。この間、ニーズ、コスト、安全、図書館職員の勤務体制などを検証します。

なお、開館日は右記のとおりです。図書館のウェブサイトでもご確認ください。

8 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9 月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■ 日・祝日開館日 ■ 図書館休館日

基盤教育センター・小林道彦教授が吉田茂賞を受賞しました！



基盤教育センター・小林道彦教授の著書『政党内閣の崩壊と満州事変ー1918～1932ー』が、財団法人吉田茂国際基金から本年3月26日に第39回吉田茂賞に選定されました。

※吉田茂賞

財団法人吉田茂国際基金から「国際的教養の豊かな前途有為な学者」に授与される学術賞。昭和46年度からの歴史があり、日本外交史・政治史の分野で顕著な業績を上げた研究者に贈られています。

※著書の概要

1920年代の政軍関係が政党内閣一陸軍省優位のものとして成熟していったことを論証し、やがてこの体制が動揺するなかで、関東軍や海軍の出先までもが連鎖的に暴走を始め、ついには満州事変・第一次上海事変の勃発へといたる、その政治過程を現実の政治的力関係に即して具体的に論じています。

同窓会からのお知らせ

本学留学生 邵維慧さん(中国・山東省)のお母様 吳英建さんが、同窓会が行う学生への支援に感謝して、同窓会に虎の刺繍を寄贈しました。現在、図書館ロビーに展示しています。



(左から 田村慶子 学術情報総合センター長、邵維慧さん、山下建治 前同窓会長)

本学の改革の取り組みが本になりました

本学の矢田俊文学長が、平成17年4月に学長に就任してからこれまでに取り組んだ改革の内容が「北九州市立大学改革物語」として出版されました。

「受験者数のV字型回復」や「留年生40パーセント減」、「教養教育の再生」などこれまで本学が行ってきた画期的な取り組み内容が、詳しく書かれています。どうぞみなさん、ご一読ください。



サークル活動報告

◎軟式野球部

軟式野球部 全国大会出場決定!!

本学の軟式野球部が、3月1日(月)より開幕した九州学生軟式野球連盟春季大会(リーグ戦)にて、参加10チーム中、7勝1敗1分で西九州大学に次いで2位となり、今夏に開幕する全日本学生軟式野球選手権大会(全国大会)の出場代表チームとなりました。

全国大会の日程等については下記のとおりです。

・第33回全日本学生軟式野球選手権大会

日時:平成22年8月21日(土)～24日(火)

会場:東広島運動公園野球場 東広島アクアスタジアム

東広島市西条町大字田口67-1(東広島運動公園内)

◎柔道部

日程:平成22年5月22日(土)

大会名:第59回九州学生柔道優勝大会(2部)

場所:福岡武道館

成績:第3位

◎中国言語文化研究会

第9回漢語橋(かんごばし)世界大学生中国語スピーチコンテスト出場
外国語学部外国語学科中国語専攻夜間主コース 4年
藤井 美娜(みな)

〈世界大会出場の経緯〉

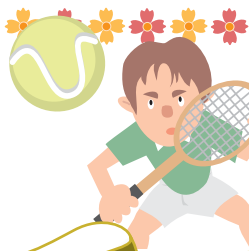
5月下旬に九州産業大学にて開催された「第11回五星奨(ごせいしょう)中国語コンテスト」に出場。スピーチの部にて、優秀な成績を収めた。その結果、「第9回漢語橋(かんごばし)世界大学生中国語スピーチコンテスト」の出場権が与えられ、世界大会出場が決定。

〈世界大会の概要〉

大会名:第9回漢語橋(かんごばし)世界大学生中国語スピーチコンテスト

期間:平成22年7月10日～8月8日

審査:予選(参加者120名)を実施し、決勝進出者30名を選出。決勝進出者で優勝を争う。藤井さんが出場するスピーチの部のほかに暗誦の部もある。



部活動紹介

体育系サークル



剣道部

北方



剣道部には男女合わせて38人が在籍しており、師範の先生方のご指導のもと、日々稽古に励んでおります。先月5月29、30日に行われた西日本大会で4年生は引退し、現在は3年生を中心とした新体制でよりよい部を創っていこうと模索しているところです。

剣道部の活動は月～土曜日の稽古、春夏の合宿、そして大会への出場と1年を通してあります。毎年、大学祭に出店するなど大学行事にも積極的に参加しています。部員同士も仲が良く、稽古の時間以外にも顔を合わせ、時には休日に遊びに行ったりすることもあります。

しかし、慣れ合うばかりではなく、ひとたび面をつければお互いに切磋琢磨し、よきライバルともなる関係であります。一人一人が目標を持ち、自らの技を磨いています。どうか応援よろしくお願いします。

主将 姫野 晋一 (法学部 政策科学科 3年)



つばきの

野球サークル

野球サークルは現在、4年生11人、3年生7人、2年生6人、1年生6人の合計30人で日々活動しています。

練習は水曜日の16時から20時と土曜日の10時から14時に、長期休暇中の練習は火曜日と金曜日の10時から14時に行っています。

現在、リーグ戦などには参加していませんが、年2回開催されるおなが自動車学校主催の野球大会には毎回参加させていただいています。第一回大会から過去4回の大会が開かれましたが、私たちは全大会で優勝を収めています。

練習日以外にも、他大学や軟式草野球チームなどと試合を行い練習の成果を見えています。新たな課題を見つけられるので、その後の練習に活かすことができます。また、練習試合は他大学との交流を深めるいい機会になっています。

私たちはこのように活動を行っています。経験の有無は問わず、部員の募集をしています。野球好きな方、一緒に野球をしましょう。

部長 村 総一郎 (国際環境工学部 機械システム工学科 3年)



教員人事

〔副学長〕(平成22年4月1日付)
近藤 倫明(地域貢献、国際交流、評価担当)
松藤 泰典(産学連携、ひびきのキャンパス担当)
中野 博文(教育、研究担当)

地域貢献室長(副学長兼務)
評価室長(副学長兼務)
アジア文化社会研究センター長(兼務)
地域共生教育センター長(兼務)

松藤 泰典
近藤 倫明
横山 宏章
伊野 憲治

〔学部長等〕(平成22年4月1日付)

外国語学部長
経済学部長
文学部長
法学部長
地域創生学群長
国際環境工学部長
大学院社会システム研究科長
大学院国際環境工学研究科長(兼務)
大学院マネジメント研究科長
学生部長
教務部長
都市政策研究所長
国際教育交流センター長
学術情報総合センター長
基盤教育センター長
入試広報センター長
キャリアセンター長(兼務)

伊藤 健一
白石 和孝
松尾 太加志
山本 光英
伊野 憲治
梶原 昭博
横山 宏章
梶原 昭博
齋藤 貞之
田部井 世志子
二宮 正人
古賀 哲矢
木原 謙一
田村 慶子
漆原 朗子
田村 大樹
中野 博文

退職・採用

〔退職〕(平成22年3月31日付)
基盤教育センター
大学院社会システム研究科
文学部
法学部

亀山 徳彦、石田 俊一
井原 健雄
宮本 大人
恩地 紀代子

〔採用〕(平成22年4月1日付)
○教授：大学院社会システム研究科
基盤教育センター
○准教授：外国語学部
経済学部
文学部
基盤教育センター
地域共生教育センター
○助教：基盤教育センター

奥山 恭英
森本 司
齊藤 園子
魏 芳
真鍋 昌賢
日高 京子
坂本 毅啓
光藤 雄一

会議開催

● 第19回経営審議会 ● 平成22年6月22日(火) 北九州市立大学本館にて開催されました。

議案

- ①平成21年度計画に係る自己点検・評価報告書について
②平成21年度財務諸表、決算報告及び事業報告について
③平成22年度補正予算について
④中期目標に対する意見について
⑤研究科・専攻の廃止について
⑥学長選考会議委員の選出について

● 教育研究審議会 ●

第117回 平成22年4月5日(月)

〔議案〕

- ①教員の休職について

第118回 平成22年4月13日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
②日本学生支援機構奨学金返還免除候補者の選考について

第119回 平成22年4月27日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
②特任研究員の選考について
③第2期中期目標・中期計画(中間報告)について
④第2期中期計画に向けた平成22年度の取組みについて

第120回 平成22年5月18日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
②特任研究員の選考について
③名誉教授の称号授与について

第121回 平成22年6月1日(火)

〔議案〕

- ①教員の人事について
②再任審査委員会の設置について
③経済学研究科及び外国語学研究科英米言語文化専攻の廃止について
④平成21年度事業に係る自己点検・評価について

第122回 平成22年6月15日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
②特任研究員等の選考について
③平成21年度計画に係る自己点検・評価について
④中期目標(案)に係る意見について

第123回 平成22年7月13日(火)

〔議案〕

- ①教員の休職について
②教員の採用について
③学長選考会議委員の選出について

第124回 平成22年7月27日(火)

〔議案〕

- ①学長選考会議委員の選出について
②教員の採用について
③特任研究員の選考について

入試情報

北九州市立大学 平成23年度(2011年度)入学試験スケジュール

■平成22年

選抜名称	出願期間	試験日	合格発表
AO入試 (地域創生学群のみ)	9/6(月)～9/10(金)	1次選考 10/3(日) 2次選考 10/24(日)	1次発表 10/14(木) 2次発表 10/29(金)
推薦入学 社会人特別選抜 (法・地域・工のみ)	11/1(月)～11/5(金)	11/21(日)	12/8(水)

■平成23年

選抜名称	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜	1/24(月)～2/2(水)	経・文・工 2/25(金)	3/8(火)
		外・法・地域 2/26(土)	
		外・経・文・法・工 3/12(土)	3/21(月・祝)

※大学入試センター試験は平成23年1月15日(土)、16日(日)に行われます。

北九州看板娘・看板息子を紹介します。



調 真希 さん

中村 優 さん

真部 せいら さん

尾西 正嗣 さん

北九州看板娘・看板息子とは

「北九州看板娘・看板息子」は、わっしょい百万夏まつり振興会が、平成19年より、わっしょい百万夏まつりの開催に併せ、北九州市を広くアピールできるシンボルとして公募した親善大使です。選考にあたっては、北九州市の魅力を理解し素晴らしさをアピールできる「看板力」を重視しています。年間を通じて、市内外の多彩な催しに参加し、北九州市をPRする活動を行っていきます。

また、「北九州看板娘・看板息子」の調真希さんは本学の在學生、真部せいらさん、尾西正嗣さんは卒業生です。



北九州看板娘

文学部 人間関係学科 4年 調 真希

募集の案内を見たときになぜか「これは私にピッタリのお仕事だ!」とピンとききました。と言うのも、ダンスをしておりステージに立つことが好きなものもありますが、色々な場所に行き私生まれ育った大好きな北九州の事をたくさんの方々に伝えることや、自分自身ももっと北九州について深く知れるお仕事に魅力を感じたからです。

大学に入学後は、勉強はもちろんですが、2年生の夏から3年生の秋まで学内インターンシップの「Navy Wavy」(北九州にJリーグチームを作るプロジェクト・5ページ参照)として活動しました。実際、ギラヴァンツ北九州がJ2に昇格したことによって、北九州の可能性に感銘を受け、北九州をより好きになりました。

また、就職活動で大阪や東京に行くことがあったのですが、やはり帰ってくるたびに、生まれ育った北九州が安心でき、居心地がいいと思うようになりました。そういった大学時代に経験してきたいろいろな要素

が合わさって、北九州看板娘になれたのではないかなと思っています。

今は、市内各地の観光研修を初めとして、マナー研修、話し方研修、ヘアメイク研修、ウォーキングレッスン、ダンスレッスンなど、慣れないことにてんてこ舞いの毎日です。今まで経験したことのないことばかりなのでとても新鮮です。北九州看板娘として北九州の知識を増やすのはもちろんですが、皆さんから愛される看板娘になれるようにマナーや、話し方など、内面も磨いていきたいです。

これから1年間北九州看板娘(観光親善大使)として頑張っていきますので応援よろしくお願いします。

◎出張講義、大学見学のご要望は随時受け付けています。お気軽にお尋ねください。

◎学報に関する皆様からのご意見をお寄せください。

お問い合わせは、大学広報入試課(Tel.093-964-4196)へお願いします。

公立大学法人北九州市立大学学報 青嵐 第21号

The University of Kitakyushu Information, 2010 Vol.21



URL <http://www.kitakyu-u.ac.jp>

E-mail kouhou@kitakyu-u.ac.jp

発行/北九州市立大学広報入試課 発行日/平成22年7月31日 〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1 Tel(093)964-4196/Fax(093)964-4020